



本当にあった怖い話

症例で学ぶ

呼吸・循環アセスメント50

講座コード R-22

～急変を防ぎ、離床を成功させる究極の評価～

開催日：2025年 2月24日(月・祝) 10:00～16:10

難易度
★★★★☆

会場：インターネット生ライブ中継 **見逃し受講期間 2週間あり**

講師：曷川 元 先生 (日本離床研究会 学術研究部)

対象：看護師・PT・OT・ST (左記以外も受講可) ※先着順：定員になり次第締切り

受講料：会員 9,800円 一般 12,800円(税込) **新入会 会費無料**

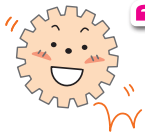


急変・悪化したらどうしよう・・・

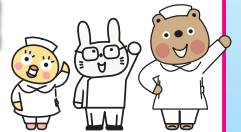


そんな不安を吹き飛ばすとおきの手段とは？

1つひとつのパラメータの意味はなんとなくわかるけど、離床するとなると急変がコワくて・・・そんな悩みはありませんか？ そんなあなたへの特効薬は、実際の症例で学ぶこと。厳選された50の症例で、現場と同じ状況のアセスメントを経験すれば、“活かした知識”が身につくので、不安が解消すること間違いなし！ ベテランが経験した“離床がうまくいかなかった症例”“急変寸前で気づいた症例”を学んで、アセスメント名人になってみませんか？



“教科書だけ”の知識を“活かした知識”にする！ 50の症例で学ぶアセスメント成功術！！



Lesson 01 ここがチェックポイント！呼吸・循環パラメータがこう変化したら危険だ！！

臨床でパラメータを読むためには、その変化について知るのが一番。すぐにドクターコールすべき異常か、ちょっと様子を見て良い異常か、すぐに判断できるセラピストを育成！

やってみよう！こんな場合は異常？

Head Upしたら収縮期血圧が130mmHgから100mmHgに低下！
胸痛を伴ってSpO₂ 88%に低下、呼吸音は正常
人工呼吸器を装着したらPaCO₂が50torrに！



このコマで取り上げるパラメータ

血液データ / 心電図 / 血液ガスデータ /
フィジカルアセスメント

Lesson 02 こんな場合は離床してはイケナイ！疾患別にみるデータ解釈のポイント

この患者さん、離床は許可されているけれど、こんなデータで大丈夫!? そんな悩みを解決するため、離床してはダメな場合をまとめて解説！ これを知っていればビクビクしないで大丈夫!!

・肺炎 ・誤嚥性肺炎 ・術後患者 ・心不全増悪
・COPD急性増悪 ・心筋梗塞後 ・不整脈患者 ・脳血管疾患合併例 ほか



Lesson 03 こんな症例は急変する！見逃してはならない急変の前兆と発見時の初期対応

急変は偶然起こるものではなく、必ず起こる前に前兆があります。 「ここだけは!」というアセスメントポイントを徹底解説! もし急変した時の対応もバッチリ学習!!

呼吸困難を訴えている!
胸痛を訴えている!
投薬で明らかに様子が変わった!

人工呼吸器装着中になにかおかしい!
意識レベルが低下した!
体位変換したら呼吸がおかしい! ほか



※この講座は離床アドバイザー習得コースの理論コース1単位を取得できます。

受講方法

① ホームページよりオンライン登録

日本離床学会

検索

お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に！ 日本離床学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-12 ブラーレルビル2F

ホームページ <https://www.rishou.org/>

TEL 03-3556-5585 FAX 03-6272-9683Eメール jsea@rishou.org

